

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立若楠小学校

5月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童(生徒)の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童(生徒)一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童(生徒)の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和3年5月27日(木)

■ 調査の対象学年

小学校6年生児童(中学校3年生生徒)

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語、算数・数学)

- | |
|---|
| ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。 |
|---|

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

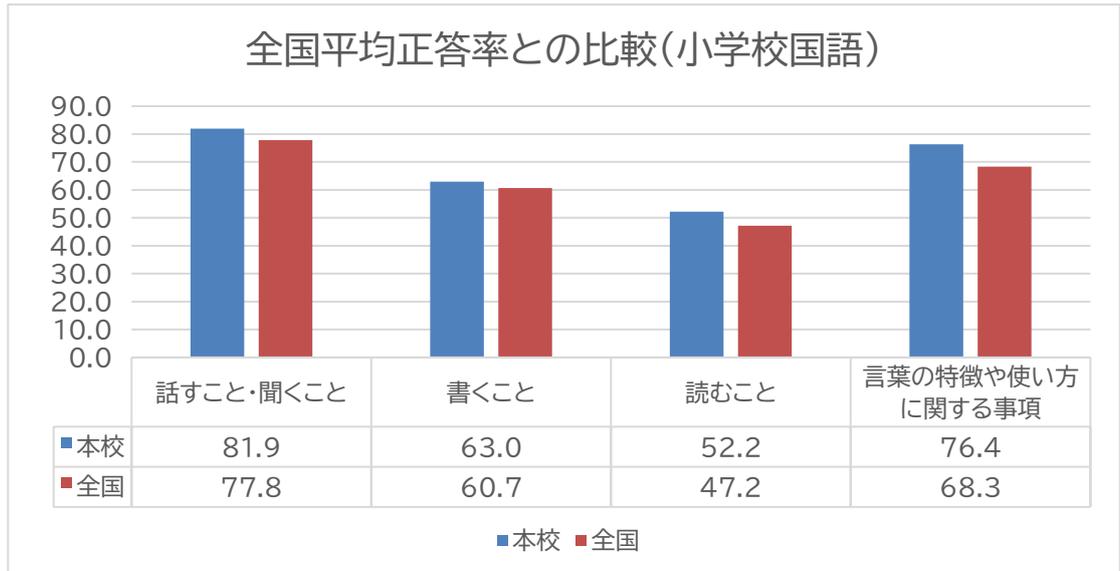
児童に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査 (例)国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご欄ください。

■ 調査結果及び考察

1 国語



(1) 結果

4領域で、全国平均正答率を上回る結果でした。「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、全国平均よりも8ポイント高い結果でした。「読むこと」については、他の領域と比べると、正答率が低くなっています。

(2) 成果と課題

今回の調査で、「言葉の特徴や使い方に関する事項」が8ポイント上回りました。国語科の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のそれぞれの内容領域の根幹をなす言葉の力であり、漢字、語句の使い方、文法などの理解が定着していると考えられます。課題は、問題形式の「読むこと」「書くこと」です。正答率の1番低かった問題は、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する問題でした。多くの情報から、必要なことを読み取り、整理して文章表現することを苦手としている児童が多くいます。単なる「知識」の習得よりも、「思考力・判断力・表現力」を中心とした学力が重視される傾向にありますので、授業改善を通して、日々の授業で力を付けていくことが重要であると捉えています。

(3) 学力向上のための取り組み

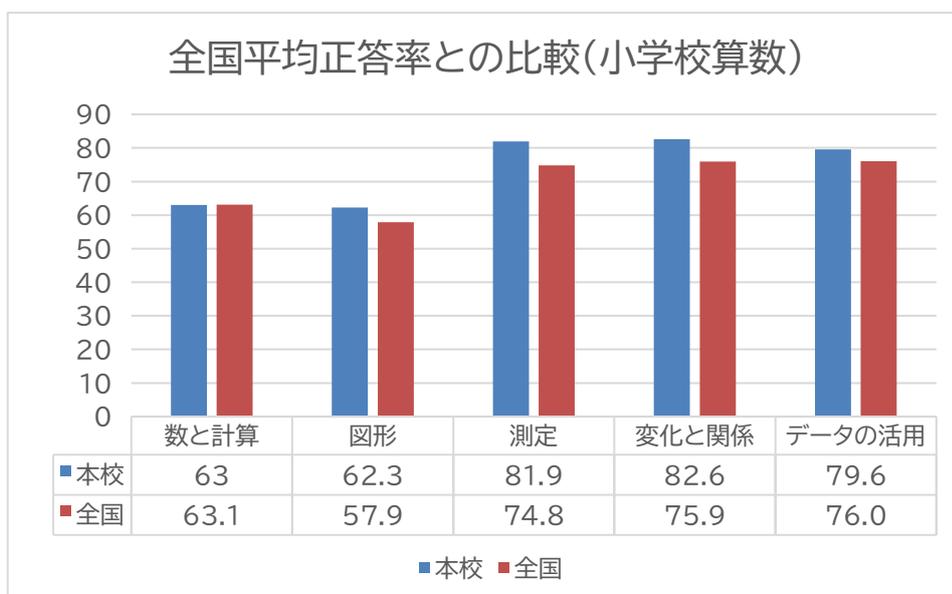
【学校では】

- 「やさしい話し方」「あたたかい聴き方」をベースにした授業を展開し、学び合いや意見交流を授業の中に取り入れ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図ります。
- 手紙の書き方や話し合いの進め方の学習を確実にを行い、身につけた「伝え合う力」を発揮する場を設けます。
- 基礎学力(漢字、言葉のきまり、語彙)を身に付けるよう、繰り返し学習に取り組みます。

【ご家庭では】

- 音読を大切にしていきましょう。繰り返し音読することで、文の構成や言葉の意味を理解し、文節ごとに区切って捉えることができるようになります。文章を読み、要点や意図を捉えることは、国語科だけでなく全ての教科で効果が発揮されます。
- 読書を大切にしていきましょう。文学・科学・歴史・地理・芸術…さまざまな本を読み、いろんな表現や用語にふれることで、語彙力を高め知識の幅を広げることができます。図書館などに行き、興味のある本から触れさせることは、子供の読書習慣をつける上でおすすめです。

2 算数(数学)



(1)結果

全体としては、全国平均と比べて、2.8ポイント上回る結果でした。「数と計算」の領域を除いた「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の領域で全国平均を上回っています。

また、すべての問題において、無回答が少なくなっており、積極的に考えて回答することができる児童が多いといえます。

(2)成果と課題

今回の調査では、「思考・判断・表現」の観点である、2つのコースの道のりの差の求め方と答えを記述する問題が全国平均正答率を2.3ポイント上回っていました。また、「データの活用」の領域の、棒グラフから数量や項目間の関係を読み取る問題と、道のりと時間の関係について考察する問題の正答率も非常に高い結果となりました。しかし、場面から数量の関係をとらえて、わり算の式を立てる問題の正答率が10ポイント下回り、場面をイメージして、問題を解決していく力に課題が見られました。日々の授業で説明する活動、書く活動を継続して取り入れ、問題の大切な箇所に印を入れ、内容を確認する力を育てることが重要であると捉えています。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 式から答えを出すだけではなく、式の意味を考えたり、式に合う問題を作ったり、式から生活場面を想起しながら、式、絵や図、具体的場面を関連付けて思考する学習を増やします。
- 様々な見方や考え方ができるように、友達と考えを交流する活動を取り入れていきます。また、自分の考えを、図や表、式を使って説明する機会を増やし、表現力と記述力の向上に努めます。
- 算数科では、問題提示の段階で、問題文の大切な箇所に印を付けたり線を引いたりし、情報を整理する時間を設けます。

【ご家庭では】

- お子さんのドリルやプリント等の宿題の様子やテストをご覧になって、たくさん励ましや称賛の言葉をかけていただくと次への励みになります。
- 算数が好きになるには、習ったことが生活の中で生かされる経験をし、便利さや楽しさを感じることが大切です。「おかし分けで割り算」「料理で重さ」「お風呂で水のかさ」「買い物で暗算」「折り紙で分数」「家の中で図形探し」など、ちょっと意識するだけで、身のまわりには算数を使えるものが意外とありますので、ぜひ、算数に関連させてみてください。

3 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1)結果

「生活習慣」

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	84.8%	85.8%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	43.5%	38.3%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	50.0%	55.0%
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。	73.9%	70.1%
普段(月～金)1日当たりテレビゲーム(PC、携帯型、携帯電話・スマートフォンを含む)をする時間が2時間未満。	65.2%	50.5%

朝食・起床については全国平均を下回っています。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを大切にしていることはとても重要です。家庭と学校が協力して、習慣化していきましょう。

家庭内でのスマートフォンやコンピュータ使用のルールは、やや守られていますし、テレビゲームをする時間が2時間未満である家庭が多い結果となりました。

「家庭学習の様子」

調査の項目	本校%	全国平均 %
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	43.5%	31.2%
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	13.0%	11.6%
「2時間以上、3時間より少ない」	15.2%	15.3%
「1時間以上、2時間より少ない」	50.0%	35.6%
学校の授業時間以外に普段(月～金)、1日当たり30分以上読書をする。	58.2%	37.4%
新型コロナウイルス感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。	47.8%	29.8%

家庭学習については自分で計画を立てて勉強をしている児童が全国平均より多い結果となりました。引き続き、家庭学習の手引きをもとに家庭学習の意味を保護者や児童に伝えて家庭学習が習慣化するように指導をしていきます。また、新型コロナウイルス感染症拡大による児童の心の問題も、大切な課題であるととらえています。

(2)改善に向けての取り組み

【学校では】

- 学校からは、学年に応じた宿題を出しています。自主学習(自学)についても全学年で取り組み、お手本になる自学ノートを職員室の前に掲示して定着しつつあります。
- 朝の読書の推奨をしたり、図書委員を中心に読書イベントをしたり、ボランティアによる読み聞かせをしたりするなど、読書の機会を増やすための工夫をしています。
- 学校が休校になったときの代替授業の運用について計画をしているところです。詳細が決まり次第、お知らせいたします。

【ご家庭では】

- 学校から、生活振り返りカード等で、自分の生活を見直す機会を取り入れていますが、大切なことは、お子さんが自分事として、進んで取り組んでいるかどうかです。お子さんが自分からできたとき、少しでも向上したときをチャンスにして、褒めることで意識が更に高まります。
- 「家庭学習の手引き」をご覧ください、学習時間のめやすや自主学習の説明を参考に、自分で決めて学習できるように励ましてください。